



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第13巻第
11号)

AUTHOR(S):

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第13巻第11号). 泌尿器科紀要 1967, 13(11): 858-858

ISSUE DATE:

1967-11

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/113219>

RIGHT:

編 集 後 記

この処毎月の編集後記で弔辞が続くことは残念である。今回も三重大学矢野教授の御逝去を悲しみをもって報ぜねばならぬ。先生はこの数年来健康を害され自重をされていたが、病改まり11月4日の中部連合地方会最終日に心不全で急逝され、同7日御自宅で密葬が、続いて21日大学葬が盛大に営まれた。先生は昭和4年の京大御卒業で昭和18年三重医専に御赴任になり、以来尿石症に関する幾多の御研究を発表され、大学に移管後は病院長としても活躍され、人格円満、福德を兼ねられた斯界の先輩として多数の門人を育成せられただけに悲しみも一重深く、謹んで御逝去を悼み御冥福を祈ると共に御訃報はそろそろこの辺りで終止符と致したいものである。

なお随想は病理学の森茂樹名誉教授のお話しを掲げることとした。今後共暫らくは主に基礎学者あるいは他科の大家よりの御高見を掲載する予定である。

購 読 要 項

1. 発行は毎月（年12回）とし、年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間予約購読料金 1,500円を前納する。1冊料金 150円。払込みは振替口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会申込みは氏名（フリガナ）、住所（雑誌郵送先）、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

投 稿 内 規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。寄稿者は会員に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。
例。1) 中野：泌尿紀要，1：110，昭30。2) Lazarus, J. A. : J. Urol., 45 : 527, 1941.
5. 欧文抄録を記し、之には欧文の標題，所属機関名，ローマ字著者名を附け，なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳する。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受ける。
6. 掲載料の著者負担は4頁迄毎頁 600円，それ以上の頁，アート頁，図表，写真，欧文組版等は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈，それ以上は実費を徴収する。予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし，再校以降は編集部が行なう。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部宛，書留便。

泌尿器科紀要 第13巻 第11号

定価150円

昭和42年11月25日 印刷

昭和42年11月30日 発行

顧 問 稲 田 務

編集発行人 加 藤 篤 二

発 行 所 泌尿器科紀要編集部

京都市左京区聖護院川原町53

京都大学医学部泌尿器科学教室内

電話 ㊦ 8111 学内 5806

印 刷 所 山代印刷株式会社

京都市上京区寺之内通小川西入